

平成16年3月26日

各位

上場会社名 株式会社NIPPO コーポレーション
代表者名 取締役社長 仁瓶義夫
(コード番号 1881 東証第1部)
問合せ先 取締役企画部長 青木淳美
TEL (03)3563-6741

当社の親会社 新日本石油株式会社
代表者名 取締役社長 渡 文明
(コード番号 5001 東証第1部)

通期業績予想の修正と減損会計の導入 及び関係会社の私的整理・特別清算に関するお知らせ

当社は、平成15年11月18日の中間決算発表時に公表した平成16年3月期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。なお、下記修正にあたり、減損会計を導入したことを併せてお知らせいたします。

また当社は、平成16年3月26日開催の取締役会において、持分法適用会社である浅野工事株式会社が特別清算を前提とした私的整理を行うことに同意し、これに伴い同会社に対する債権放棄等を実施することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

平成16年3月期業績予想数値の修正(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

1. 単体業績予想 (単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------------|---------|-------|--------|
| 前回発表予想(A) <平成15年11月18日発表> | 297,000 | 7,100 | 2,550 |
| 今回修正予想(B) | 282,000 | 5,500 | 19,700 |
| 増減額(B-A) | 15,000 | 1,600 | 22,250 |
| 増減率(%) | 5.1 | 22.5 | - |
| 前期(平成15年3月期)実績 | 273,202 | 7,646 | 2,595 |

2. 連結業績予想 (単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------------|---------|-------|--------|
| 前回発表予想(A) <平成15年11月18日発表> | 392,000 | 8,200 | 3,350 |
| 今回修正予想(B) | 375,000 | 7,300 | 16,600 |
| 増減額(B-A) | 17,000 | 900 | 19,950 |
| 増減率(%) | 4.3 | 11.0 | - |
| 前期(平成15年3月期)実績 | 295,709 | 8,045 | 2,732 |

3. 修正の理由

(1) 当期(単体)の状況

当社は、財務体質の強化とバランスシートの健全化を図るため、強制適用が予定されている固定資産の減損会計を早期に導入することといたしました。固定資産の適正な評価を行い、企業情報の透明性の確保に資するものであります。同時に、開発事業用不動産に関して販売促進を目的とした販売施策見直しの結果、開発事業用不動産の評価損の計上を実施いたします。

また、当社の持分法適用会社である浅野工事株式会社が、特別清算を前提とした私的整理手続きに入ったため、債権放棄等に伴う損失負担の発生が見込まれます。内容は後述参照

これらの実施に伴い次のとおり特別損失の発生が見込まれますので、業績予想の修正を行うものです。

<特別損失の主な内訳>

| | |
|------------------------------|-------|
| 固定資産の減損損失 | 167億円 |
| 長崎県琴海町で経営するホテル・ゴルフ場の減損損失 | |
| 開発事業用不動産の評価損 | 55億円 |
| 販売施策見直しの結果、時価が簿価より30%以上下落した | |
| 開発事業用不動産の評価損 | |
| 関係会社整理損 | 49億円 |
| 持分法適用会社の特別清算を前提とした私的整理に伴う整理損 | |

また、公共投資関連の舗装市場の縮小による製品販売高の減少等により、売上高及び経常利益が当初予想を下回ることが見込まれますので併せて修正を行います。

(2) 当期(連結)の状況

当期(単体)の業績修正の影響により、当期連結業績予想は、上記の見込みです。

4. 任意積立金の取り崩し及び配当について

上記により平成16年3月期個別決算において多額の欠損が発生しますが、平成16年6月に開催する株主総会の承認を得た上で、任意積立金を取り崩し、これを補填いたします。

なお、配当につきましては、当初公表の通り、1株当たり12円を実施する予定であります。

・関係会社(浅野工事株式会社)の私的整理・特別清算

1. 浅野工事株式会社の概要

| | | | |
|----------------|--------------------|--------------|--|
| (1) 商号 | 浅野工事株式会社 | | |
| (2) 事業の内容 | 建設業 | | |
| (3) 設立年月日 | 昭和26年6月 | | |
| (4) 所在地 | 中央区日本橋本町4丁目9番11号 | | |
| (5) 代表者の氏名 | 浅井 治 | | |
| (6) 資本金・発行済株式数 | 1,331,660千円 | 31,913千株 | |
| (7) 株主資本・総資産 | 776,897千円 | 20,392,848千円 | |
| | 平成15年11月30日現在(中間期) | | |
| (8) 決算期 | 5月31日 | | |
| (9) 主要株主 | 株式会社NIPPONコーポレーション | 47.5% | |
| | 丸紅株式会社 | 47.5% | |

(10) 最近3年間の業績

| | 平成13年5月 | 平成14年5月 | 平成15年5月 |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 30,062百万円 | 28,231百万円 | 22,913百万円 |
| 経常利益 | 745百万円 | 91百万円 | 205百万円 |
| 当期純利益 | 4,529百万円 | 821百万円 | 1,691百万円 |
| 株主資本 | 2,239百万円 | 236百万円 | 832百万円 |

2. 経緯

当社の持分法適用会社である浅野工事株式会社は、上下水道、し尿処理施設等の建設を中心とした建設工事業を営んでおります。

同会社では、当中間期(平成 15 年 11 月 30 日)において、完成工事総利益の段階で損失を計上するとともに債務超過に陥るに至りました。また、当期末(平成 16 年 5 月 31 日)においても債務超過を解消できない見通しであります。同会社は、従前より厳しい金融環境に置かれていましたが、当期の財務状況(債務超過状態)のもとでは、支払不能に陥ることが避けられない状況にあります。

かかる状況を受け、同会社は、会社継続を断念せざるを得ないと判断し、後述の通り特別清算を前提とした私的整理案を全取引金融機関並びに大株主である当社及び丸紅株式会社に対して提示しました。

当社は、これまで大株主として可能な限りの支援を行ってきており、かかる事態に至ったことについては誠に遺憾であります。この状況にあっても同会社が受注済み工事を問題なく完成させることが社会的使命であると認識しております。これを履行するため、同会社は、特別清算を前提とした私的整理案の中で、工事継続の確保のため工事関係債権者に対して支払いを完済することを組み込んでおり、当社は、現状を踏まえた善後策としてやむを得ない選択と判断し、提示された私的整理案に応諾することとしました。

3. 私的整理・特別清算の概要

(1) 工事承継と特別清算

特別清算を前提とした私的整理案では、同会社の完成・未完成の工事に関わる債権債務(金融債務を除く)の全てを、当社グループの建設子会社が承継することとしています。なお、工事の承継には発注者及び工事関係者の了解が必要なため、同会社および当該建設子会社は、ただちに発注者及び工事関係者に対して本件に関する説明を行い、了解を得るべく努めるものとしています。

これにより、工事関係債権者に対する支払は完済されることになり、工事の継続・完成を確保することになります。

当社及び丸紅株式会社は、同会社に対する株主支援として、従業員退職金等の清算費用に充てるための資金の拠出を行うとともに、特別清算手続きの中で貸付金及び同拠出金の債権放棄を行うことに同意しました。

工事承継後、同会社は特別清算の申立を行い、債権者(金融機関)に対する弁済を実施します。弁済にあたり債権者(金融機関)は、私的整理案に沿って特別清算手続きを行うことに同意しております。

(2) 私的整理・特別清算の日程(浅野工事)

| | | |
|--------|-----------------|----------|
| 工事承継実施 | 平成 16 年 4 月(予定) | 個別工事毎に実施 |
| 臨時株主総会 | 平成 16 年 5 月(予定) | 会社解散決議 |
| 特別清算申立 | 平成 16 年 5 月(予定) | |

以上